



Title	大阪大学低温センターだより No.44 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1983, 44
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22094
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編 集 後 記

編集会議出席は2回目で編集の方は全くの素人、目下のところ諸先輩方の仕事を拝見しているところです。

先日、産業科学研究所の岡田教授が、日米協力の成果として、LLNLにあるRTNS IIを使った照射実験の結果を発表されました。(新聞でご存知の方もおられると思いますが)これは超伝導線材(Nb_3Sn , MoSi)をLHeT付近に冷却したまま連続5週間運転し、高速中性子(14 MeV)フルエンスで 10^{18}n/cm^2 まで照射した実験です。冷却方式は伝導型で、 Liq. He を常に流しっぱなしという大胆な方式です。これは核融合炉20年間運転に相当するもので、磁場12 Tのもとで、 I_c が5%しか劣化しないことを実証しました。核融合への超伝導マグネット応用への実証試験の一步と位置づけができると思います。これですます『低温がはやる』『低温を扱う人が多くなる』『低温センターだよりが、もっと読まれるようになる。』という三段論法が成り立つわけです。(?)

さて本号では、「接着剤の科学」、「水には色があるか」、「メスバウア吸収ならぬメスバウア散乱」と読者の興味をそそるような題名がずらっと並んでおります。また、溶接工学研究所のジャイロトロンの紹介もあり盛りだくさんです。

秋の夜長、低温センターだよりを読みながら、阪大オリジナルなideaを練ってみてはいかがでしょうか。(西嶋茂宏)

今号より新しく次の方々が編集委員に加わるようになりました。

白 川 二 氏 (工学部電子工学科)

室 清 文 氏 (基礎工学部物性物理工学科)

大阪大学低温センターだより 第44号

昭和58年10月 発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話(06) 877-5111 内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話(06) 844-1151 内線 2162

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話(06) 443-0936 (代表)

目 次

No. 44

研究ノート

大出力ジャイロトロンを利用したECRプラズマ熱源

の研究とその応用	溶接工学研究所	荒 田 吉 明	1
		三 宅 正 司	
		阿 部 信 行	

メスバウア吸収ならぬメスバウア散乱という新しい実験

.....	理 学 部	中 井 裕	6
-------	-------	-------------	---

分子振動のオーバートーンによる光の微弱な吸収

— 水には色があるか —	基 礎 工 学 部	山 本 直 登	10
--------------------	-----------	---------------	----

低温中級シリーズ12

接 着 剤 の 科 学	岐 阜 大 学	中 尾 宗 一	14
	基 礎 工 学 部	畑 田 耕 一	

コ メ ン ト	産 業 科 学 研 究 所	西 嶋 茂 宏	19
---------------	---------------	---------------	----

表 紙：ジャイロトロンミリ波発生装置（本文1ページ）